

菊川支所・市民センター整備基本計画

令和7年4月

周南市

目 次

1	本計画について		P.1
2	現施設の概要		P.2
3	整備の基本的な考え方		P.3
4	菊川地区住民の意見の整理		P.5
5	菊川市民センター等の使用状況		P.6
6	新施設の概要		P.7

1 本計画について

(1) 計画策定の趣旨

現菊川支所・市民センターは、昭和47年に旧耐震基準で建設され、築後50年が経過しています。老朽化が進んでおり、耐震性が確保されておらず、バリアフリーへの対応が十分ではない現状です。

本計画は、老朽化が進む「菊川支所・市民センター」について、関連計画に基づき整備を行うにあたり、少子高齢化や人口減少など昨今の社会情勢を踏まえつつ、今後も将来にわたり効果的で質の高いサービス提供の実現に向けた施設整備を行うことを目的として策定します。

(2) 菊川地域について

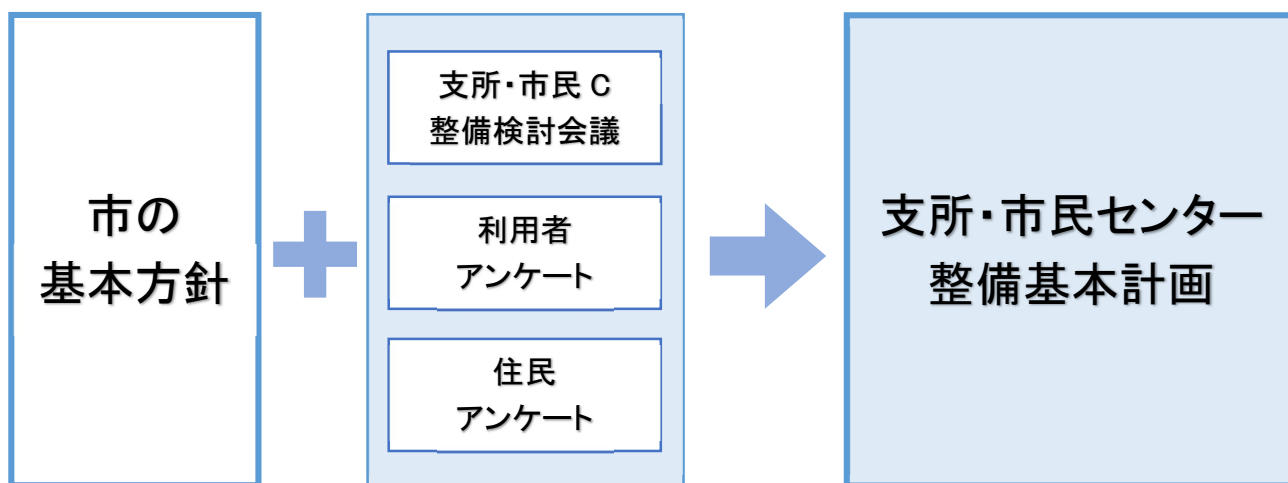
菊川地域は、二級河川富田川流域の上流域で、国道489号沿道の小畑、県道和田上村線沿道の四熊、二級河川富田川沿いの菊川で構成されています。

地域は標高約 50m～400mの山地と二級河川富田川沿いの谷部で、富田川上流域に菊川湖があります。

(3) 策定の流れ

本計画の策定にあたっては、地域住民の意向を最大限に配慮したうえで、次の流れで検討・整理を行いました。

基本計画策定の流れ



2 現施設の概要

(1) 菊川支所・市民センター

所在地	周南市大字下上2146番地
建設年	昭和47年
構造	RC 造 2階建て
耐震	無し
延床面積	688 m ² (支所部分 149m ² / 市民センター部分 539m ²)
施設概要	<u>1階</u> 集会室、会議室 <u>2階</u> 大講義室、大講座室、小講座室、調理室、第2集会室 <u>外部</u> 倉庫

(2) 菊川市民センター富岡分館

所在地	周南市大字下上1560番地
建設年	昭和51年
構造	RC 造 平屋建て
耐震	有り
延床面積	170 m ²
施設概要	集会室、会議室

(3) 菊川市民センター加見分館

所在地	周南市大字上村703番地の1
建設年	昭和51年
構造	RC 造 平屋建て
耐震	有り
延床面積	170 m ²
施設概要	集会室、会議室

(4) 四熊市民センター

所在地	周南市大字四熊1417番地
建設年	昭和50年
構造	RC 造 2階建て
耐震	有り
延床面積	340 m ²
施設概要	講堂、研修室、調理室、和室

(5) 小畑市民センター

所在地	周南市大字小畑190番地
建設年	平成元年
構造	S 造り 2階建て
耐震	有り
延床面積	355 m ²
施設概要	会議室、調理室、講座室、講堂

3 整備の基本的な考え方

(1)建設条件の整理

菊川地区内は、二級河川富田川沿いに位置していることから、土砂災害警戒区域及び浸水区域の範囲が広く適切な建設場所の確保が困難です。

このため、土砂災害警戒区域ではありますが、現在地にて建て替えを行うこととし、また垂直避難に有効な2階建てでの整備が望ましいと考えられます。

また、それぞれ老朽化が進んでいる菊川市民センター富岡分館・加見分館については、「周南市市民センター施設分類別計画」(平成29年3月策定・令和7年3月改定)の記載のとおり、市民センター機能を菊川支所・市民センターに複合化(集約化)することとします。

(2)既存施設の取扱い

ア 菊川支所・市民センター

新施設の供用開始後、速やかに解体します。

イ 菊川市民センター富岡分館

建て替えは行わないこととし、廃止の時期は協議決定することとします。

ウ 菊川市民センター加見分館

建て替えは行わないこととし、廃止の時期は協議決定することとします。

エ 四熊市民センター

整備する菊川支所・市民センターとは地理的に離れているため、当面、現行通りとします。

オ 小畑市民センター

整備する菊川支所・市民センターとは地理的に離れているため、当面、現行通りとします。



〈菊川支所・市民センター〉



〈菊川市民センター富岡分館〉



〈菊川市民センター加見分館〉



〈四熊市民センター〉



〈小畑市民センター〉

(3)地区内の他の公共施設の再配置の検討

支所、市民センター、市民センター分館を除く地区内の公共施設は、以下のとおりです。

施設分類	施設名称
スポーツ施設	菊川総合グラウンド
こども関連施設	菊川幼稚園 菊川保育園 菊川小校区児童クラブ A・B・C
学校関連施設	菊川小学校 四熊小学校(休校) 小畑小学校(休校) 菊川中学校
消防関連施設	加見機庫 中野機庫 富岡機庫 四熊機庫
公園	加見公園 見明第1公園・第2公園 富岡公園 川上ダム公園 菊川公園 城山第1公園・第2公園・第3公園・第4公園 清海第1公園・第2公園 岩屋公園 蔵掛公園
その他	川本共同墓地
上下水道施設	菊川浄水場

これらの公共施設のうち、他地区(※他地区＝和田、長穂、須々万等)での公共施設の再配置の検討・協議等を踏まえ、この度、併せて再配置を検討すべき施設としては、菊川幼稚園及び菊川保育園並びに地区内の4つの機庫が挙げられます。

しかしながら、現在地付近での支所・市民センターの建替えの場合、土砂災害警戒区域であることから、活用可能な敷地面積が限られるため、幼稚園及び保育園並びに機庫については、将来的に検討することとします。

保育園及び幼稚園は、引き続き、「周南市保育所・幼稚園・認定こども園施設分類別計画」(令和3年3月策定)に基づき、適正な集団規模の確保及び安全な施設環境の確保に向けて、民間活力の導入や、現行施設を集約した認定こども園への転用も含め、再編方針を検討していきます。

地区内の4機庫は、「周南市消防団機庫施設分類別計画」(平成29年3月策定)の記載のとおり、原則、継続利用とし、消防団及び地域住民の意見や、整備用地の確保などの総合的な評価を踏まえた上で、計画的な更新整備を検討していきます。

4 菊川地域住民の意見の整理

(1) 菊川支所・市民センター整備検討会議

菊川地域の各団体代表者等22名から構成されています。
全6回開催し、新施設の機能や規模等について、協議やワークショップによる意見交換を行いました。

主な意見	●館内土足 ●利用者用ロッカー ●子ども用便器	●外倉庫 ●子育て世代が使いたくなるような部屋 ●おむつ替えスペース	●全部屋にWi-Fi ●鏡(集会室、和室) ●非常用階段
------	-------------------------------	--	------------------------------------

(2) 利用者アンケート

新市民センターに求める設備・機能を、現在の利用者からお伺いするために行いました。

調査方法	菊川市民センター、菊川市民センター加見分館、富岡分館を定期的に利用する団体の代表者にアンケート票を手渡しで配付し、菊川支所・市民センターへの持参により回収		
調査期間	令和5年10月中		
配付数	46団体		
回答数	25団体(回収率:54.3%)		
主な意見	●舞台 ●土足での出入り ●湯沸かし室	●防音 ●倉庫 ●音響設備	●ロッカー ●鏡(集会室、和室) ●暗幕

(3) 住民アンケート

菊川地域の実情をより反映させた基本計画を策定するために行いました。

調査方法	菊川地域住民(15歳以上)から無作為に抽出した方を対象にアンケート票を郵送。郵送または菊川支所・市民センターへの持参により回収		
調査期間	令和5年9月中		
配付数	1,200人		
回答数	524人(回収率44%)		

【調査結果】 別紙のとおり

5 菊川市民センター等の使用状況

(1) 施設の稼働率(R5実績)

部 屋 名		稼 働 率		
		全 体	平 日	土 日 祝
本 館	集会室	24.7%	29.7%	14.3%
	会議室①	8.6%	11.6%	2.4%
	会議室②	4.1%	4.8%	2.8%
	会議室③	4.0%	5.5%	0.9%
	和室①	7.1%	8.5%	4.2%
	和室②	6.0%	7.8%	2.2%
	調理室	2.8%	2.0%	4.3%
富 岡	集会室	22.7%	30.3%	6.9%
	講座室	3.0%	3.0%	3.1%
加 見	集会室	10.6%	12.0%	7.9%
	講座室	1.4%	0.9%	2.4%

※稼働率＝開館時間に対する利用時間の割合

(2) 施設の利用人数帯(R5実績)

部 屋 名		利用人数帯の割合				
		1～9 人 での利用	10～19 人 での利用	20～29 人 での利用	30 人以上 での利用	合計
本 館	集会室	21%	54%	21%	4%	100%
	会議室①	95%	5%	0%	0%	100%
	会議室②	68%	21%	9%	2%	100%
	会議室③	96%	2%	0%	2%	100%
	和室①	79%	16%	3%	2%	100%
	和室②	89%	4%	4%	3%	100%
	調理室	37%	40%	13%	10%	100%
富 岡	集会室	80%	19%	1%	0%	100%
	講座室	47%	43%	6%	4%	100%
加 見	集会室	61%	34%	4%	1%	100%
	講座室	96%	0%	4%	0%	100%

※例:集会室の利用件数のうち 21%は 1～9 人で利用

6 新施設の概要

(1) 施設の検討の方向性

ア 基本方針

頂いたご意見を踏まえ、施設の検討の方向性は次のとおりとします。

基本方針
1 子どもから大人まで、誰もが利用しやすいデザインとする 2 地域住民、団体間の交流が生まれる施設とする 3 一人ひとりの学びの機会や、利用形態に合った活動スペースを提供する 4 災害時には避難所となることで地域住民の安心・安全を確保する施設とする 5 今後の人口推移及び公共施設の総量抑制を踏まえた規模とする

イ 導入機能

機能	内容(整備を予定する機能)	部屋名
(1) 支所	◎身近な行政手続きができる場	受付カウンター 相談スペース
(2) 市民センター	◎地域づくり、生涯学習活動の場	集会室、会議室、和室、 調理室、各種団体室
(3) 交流	◎明るく開放的で気軽に集まることができる場	ロビー、オープンテラス
(4) 学習	◎体を動かす動的な活動の場 ◎机に向かうような静的な活動の場	集会室(再掲) 図書コーナー
(5) 防災	◎災害時に避難所として活用できる場	集会室(再掲) 和室(再掲)

ウ 各部屋イメージ

部屋名	性能基準
集会室	▶「講演会・集会」、「演奏会・合唱」、「ダンス」、「体操」などに利用できる部屋。 ▶防音や防振に配慮する。 ▶災害時には避難場所とする。
会議室	▶「講座・講習会」「会議」などに利用できる部屋。
和室	▶「舞踊・和楽器演奏」「華道・茶道」「ヨガ・ストレッチ・体操」などに利用できる部屋。 ▶災害時には避難場所とする。
調理室	▶調理実習に利用できる部屋。
図書コーナー	▶気軽に立ち寄って本を読むことができるよう1階ロビーに面して配置する。
各種団体室	▶地域コミュニティ等の活動室。
ロビー	▶玄関に面して設け、地域の方が自由に立ち寄り、集える賑やかな空間。 ▶各団体の活動内容の掲示等、情報を発信・提供できる場とする。
オープンテラス	▶子どもから大人まで、すべての人々が憩い、交流できる空間。 ▶玄関側に面するように計画し、賑やかな明るい雰囲気空間とする。

(2)新施設の整備場所

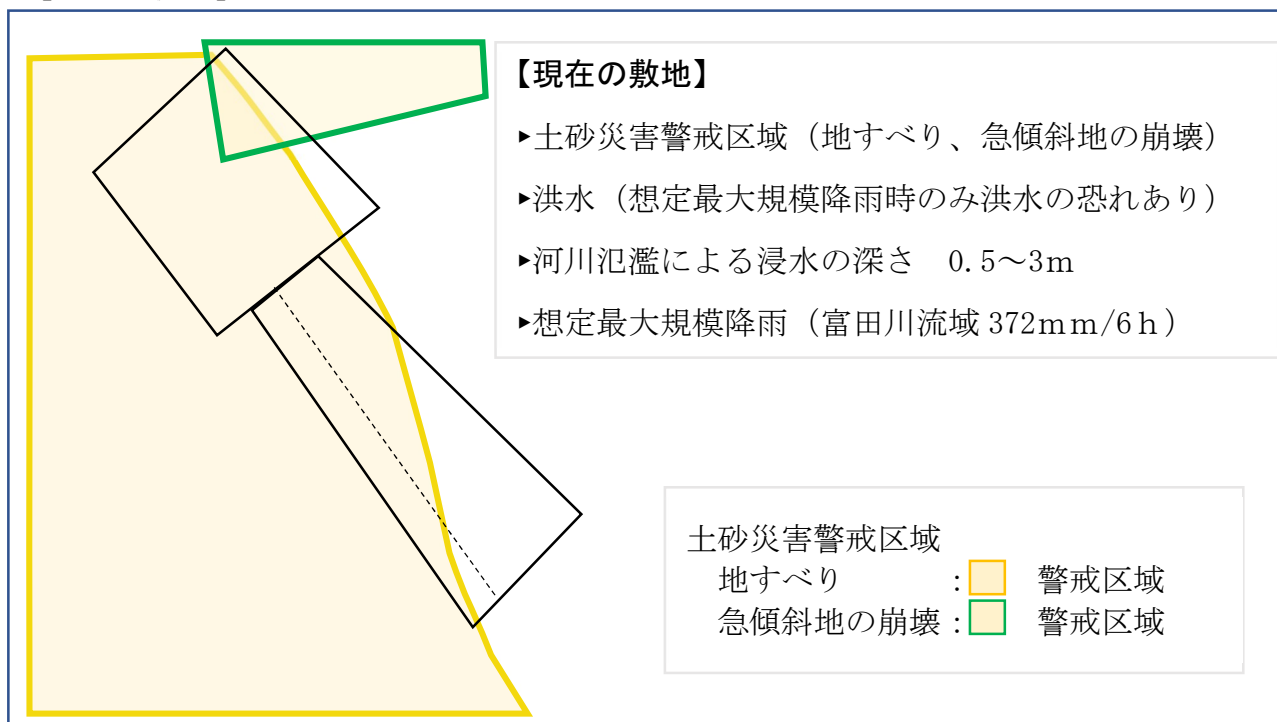
ア 整備場所の検討

前述のとおり、新施設の整備は現在地にて行うこととします。

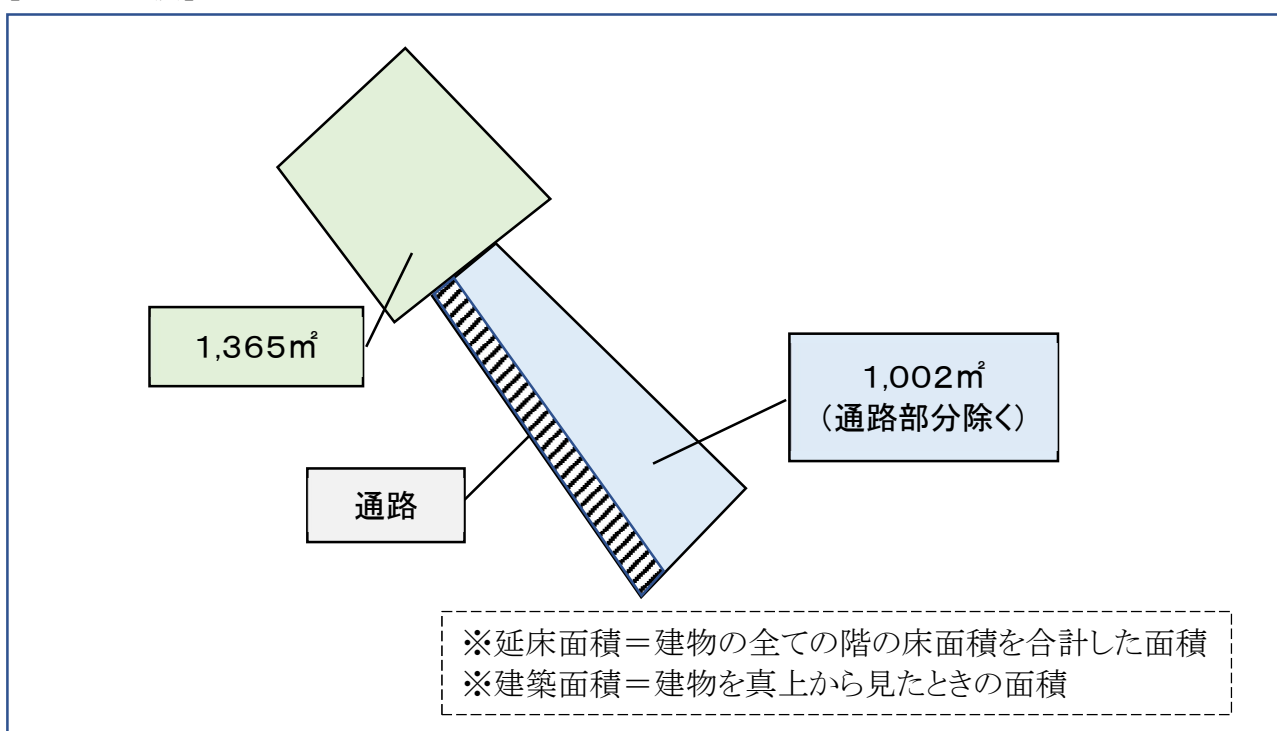
イ 現在地の状況整理

現在の菊川支所・市民センターの敷地と建物の状況は以下のとおりです。

【敷地の状況】



【敷地の面積】



ウ 敷地内での建設位置、階層ごとの比較検討

現在地の敷地の現状を踏まえ、建設位置(山側／県道側)と建物の階層(平屋／2階建て)のメリット・デメリットは次のとおりです。

建設位置	メリット	デメリット
山側	浸水の心配が少ない	土砂災害に警戒が必要
県道側	土砂災害の心配が少ない	1階部分は浸水の可能性有り

階層	メリット	デメリット
平屋	バリアフリー	垂直避難できない
2階建て	垂直避難できる	使い勝手が悪い場合がある

エ 建設位置、階層の候補

上記「敷地内での建設位置、階層ごとの比較検討」やアンケート調査、支所・市民センター整備検討会議で行ったワークショップの内容を踏まえ、「県道側」に「2階建て」の施設整備を第一候補とします。

(3)各部屋面積のイメージ等(案)

部屋名		面積(m ²)	1F	2F	備考
貸館等スペース	集会室①	70	70	-	間仕切り、防音、軽スポーツ
	集会室②	70	70	-	
	集会室③	40	-	40	間仕切り、防音、軽スポーツ
	集会室④	40	-	40	
	集会室⑤	40	-	40	
	会議室①	20	-	20	
	会議室②	20	-	20	もやいネット地区ステーション
	調理室	70	70	-	ロビー、オープンテラスと隣接
	和室	40	-	40	防音(生け花、一時避難等)
	団体室	30	-	30	
	ロビー・図書コーナー	80	55	25	机・椅子配置、調理室の隣
	オープンテラス	(30)	(30)	-	屋根付き
	小計	520	265	255	
共用スペース	多目的便所	8	8	-	
	男子便所	20	10	10	
	女子便所	24	12	12	
	授乳室	5	5	-	
	湯沸室	14	7	7	
	廊下	60	30	30	
	倉庫	30	30	-	
	エレベータ	10	5	5	
	小計	171	107	64	
行政スペース	事務室等	90	90	-	休憩室・書庫含む
	相談スペース	8	8	-	
	更衣室	3	3	-	シャワー室含む
	小計	101	101	0	
合計		792	473	319	

※設計等の都合上、変動する場合があります。

(4)整備スケジュール

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
用地整備	用地測量	造成測量	造成工事			供 用 開 始
施設整備	基本計画	基本・実施設計		整備工事		

※施設を取り巻く環境や政策的な事情により変更がある場合があります。

(5)管理運営方法

施設の管理運営方法については、市自らが管理運営する『直営方式』と民間団体が市に代わって管理運営する『指定管理方式』のいずれかの方法で行うこととなります。

今後、施設の基本設計を行う際に、施設の具体的な利活用の方法を検討する中で、地域の意向を踏まえて管理運営方法を決定します。

なお、指定管理方式による場合においても、支所は市が直営することとします。

菊川支所・市民センター整備に 関するアンケート報告書

令和5年12月

周南市

目次

1 アンケート概要	-2-
2 アンケート結果	
(1) 性別による回答割合	-3-
(2) 年代別の回答割合	-4-
(3) 居住地区別の回答割合	-5-
(4)-1 年間利用頻度	-6-
(4)-2 年代別利用頻度	-7-
(4)-3 地区別利用頻度	-8-
(5) 来館方法	-9-
(6)-1 希望外観	-10-
(6)-2 年代別希望外観	-11-
(7)-1 機能別重要度	-12・13-
(7)-2 機能別優先順位	-14・15-
(7)-3 年代・機能別優先順位	-16・17-
(8) 自由記載欄	-18～22-
(参考) アンケート様式	-23～26-

1. アンケートの概要

1. 目的

菊川支所・市民センターは、建築後50年が経過していることから、「菊川支所・市民センター整備検討会議（以下「整備検討会議」という。）」を立ち上げ、新たな支所・市民センターの整備に向けた検討を開始したところです。

市民センターを整備するにあたり、ニーズの変化に対応した公共サービスの提供を行う必要がある一方で、人口減少や少子高齢化といった課題も発生しており、将来に大きな財政負担を残さないようコストの最適化を図りつつ、市民サービスを維持していく必要があります。

そのため、菊川地域全住民から「無作為」に抽出した対象者にアンケートを実施し、整備検討会議の構成員以外からの意見も取り入れることで、地域の実情をより反映させた基本計画を策定することを目的としています。

2. 対象者 菊川地域から無作為に抽出した1,200人

3. 期間 令和5年9月中

4. 回収率 44% (524人)

※送付概要 地区・人口・年齢に応じて送付数を計算

(単位 人)

		年 齢 (歳)							合計
		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
下上	人口	327	543	634	773	779	577	1,172	4,805
	人口比率	4.85%	8.06%	9.41%	11.47%	11.56%	8.56%	17.39%	71.29%
	送付人数	58	97	113	137	138	102	208	853
加見	人口	79	82	200	220	142	158	486	1,367
	人口比率	1.17%	1.22%	2.97%	3.26%	2.11%	2.34%	7.21%	20.28%
	送付人数	14	15	36	39	26	28	88	246
四熊	人口	5	11	22	30	54	74	194	390
	人口比率	0.07%	0.16%	0.33%	0.45%	0.80%	1.10%	2.88%	5.79%
	送付人数	1	2	4	5	10	13	34	69
小畑	人口	3	7	11	12	26	27	92	178
	人口比率	0.04%	0.10%	0.16%	0.18%	0.39%	0.40%	1.36%	2.64%
	送付人数	1	1	2	2	5	5	16	32
全体	人口	414	643	867	1,035	1,001	836	1,944	6,740
	人口比率	6.14%	9.54%	12.86%	15.36%	14.85%	12.40%	28.84%	100.00%
	送付人数	74	115	155	183	179	148	346	1,200

2. アンケート回答結果

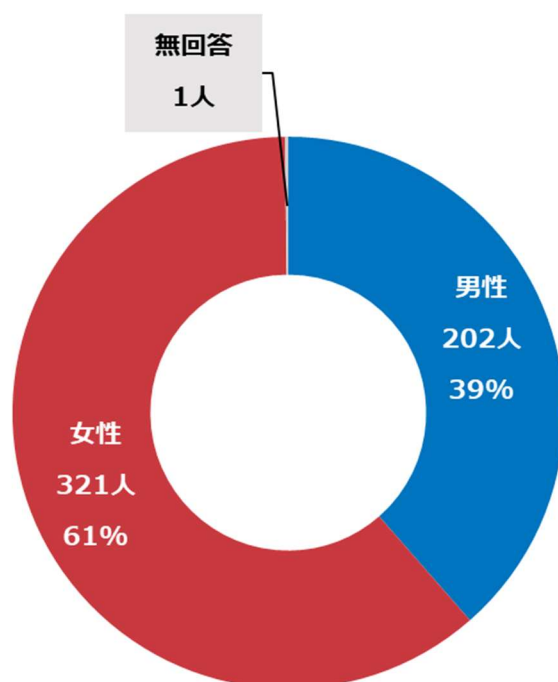
(1) 性別による回答割合

(問1:性別は?)

(単位 人)

	男性	女性	無回答	合計
回答数	202	321	1	524
割合	39%	61%	—	100%

性別



■結果

男性が202人、女性が321人、無回答が1人でした。

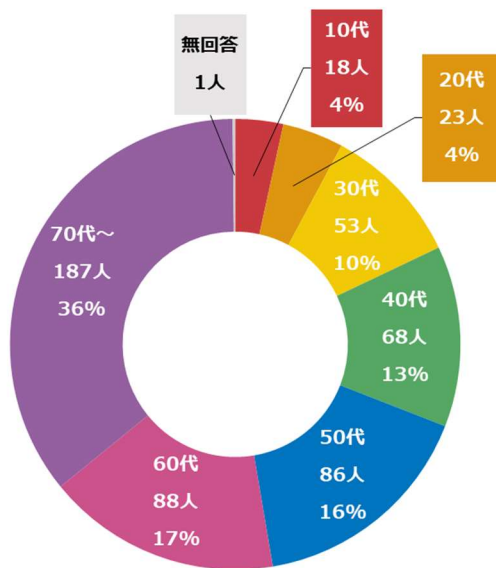
(2) 年代別の回答割合

(問2:年齢は?)

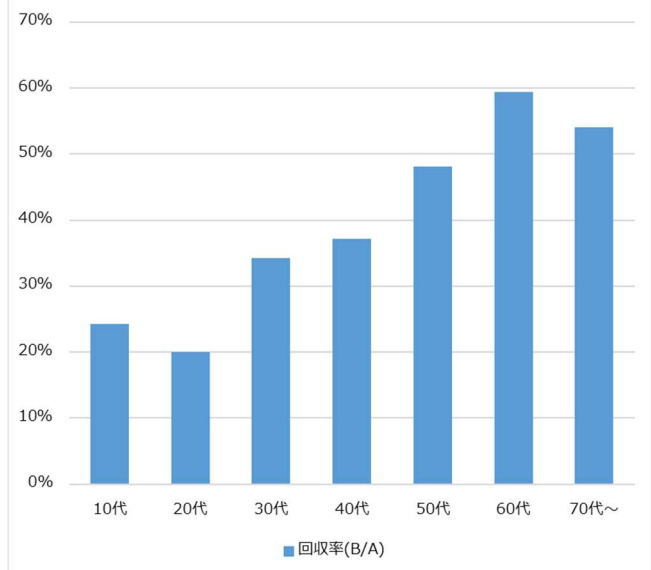
(単位 人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	無回答	合計
送付数(A)	74	115	155	183	179	148	346	—	1,200
回答数(B)	18	23	53	68	86	88	187	1	524
回収率(B/A)	24%	20%	34%	37%	48%	59%	54%	—	44%
割合	4%	4%	10%	13%	16%	17%	36%	—	100%

年代



年代別回収率



■結果

10代が18人、20代が23人、30代が53人、40代が68人、50代が86人、60代が88人、70代以上が187人、無回答が1人でした。

□考察

年代別に回収率を見ると、年代が高くなるにつれ、回答率が増える傾向にあり、若年層に比べて高年層の方が整備に対する関心が高いと考えられます。

(3) 居住地区別の回答割合

(問3:居住地区は?)

(単位 人)

	下上	加見	四熊	小畑	無回答	合計
送付数(A)	853	246	69	32	—	1,200
回答数(B)	370	111	27	13	3	524
回収率(B/A)	43%	45%	39%	41%	—	44%
割合	71%	21%	5%	2%	1%	100%

■結果

下上地区が370人、加見地区が111人、四熊地区が27人、小畑地区が13人、無回答が3人で、どの地区からも約4割程度のご回答をいただきました。

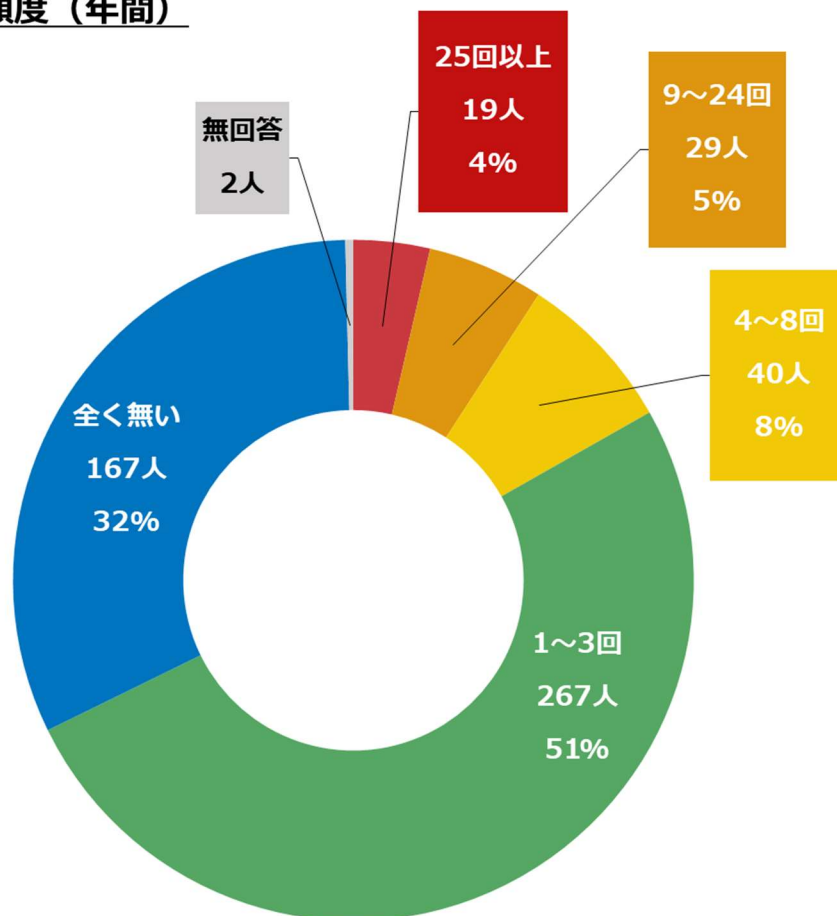
(4)-1 年間利用頻度

(問4:1年間で支所や市民センターをどの程度ご利用しますか?)

(単位 人)

	25回以上 (月3回 以上)	9～24回 (月1～2回)	4～8回 (2か月に 1回)	1～3回 (年に数回)	全く無い	無回答	合計
回答数	19	29	40	267	167	2	524
割合	4%	5%	8%	51%	32%	—	100%

利用頻度 (年間)



■結果

年間利用回数について、「25回以上」が19人、「9～24回」が29人、「4～8回」が40人、「1～3回」が267人、「全く無い」が167人、無回答が2人でした。

全体では、「1～3回」が過半数に達しており、次いで「全く無い」が32%でした。

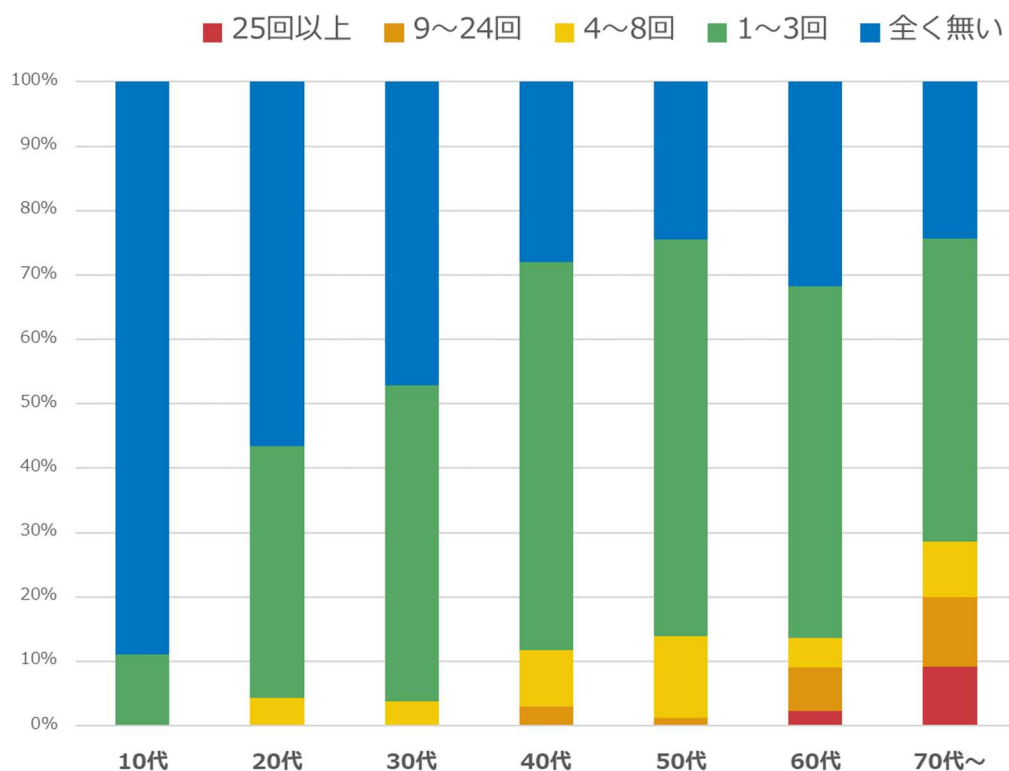
(4)-2 年代別利用頻度

(問4:1年間で支所や市民センターをどの程度ご利用しますか?)

(単位 人)

	25回以上 (月3回 以上)	9~24回 (月1~2回)	4~8回 (2か月に 1回)	1~3回 (年に数回)	全く無い	回数無回答	合計	割合
10代	0	0	0	2	16	0	18	4%
20代	0	0	1	9	13	0	23	4%
30代	0	0	2	26	25	0	53	10%
40代	0	2	6	41	19	0	68	13%
50代	0	1	11	53	21	0	86	16%
60代	2	6	4	48	28	0	88	17%
70代~	17	20	16	87	45	2	187	36%
年代無回答	0	0	0	1	0	0	1	—
合計	19	29	40	267	167	2	524	100%
割合	4%	5%	8%	51%	32%	—	100%	—

年代別利用頻度割合



■結果

年間利用頻度を年代別に見ると、若年層ほど利用頻度が低く、年齢が上がるにつれ利用頻度が高くなる傾向があります。

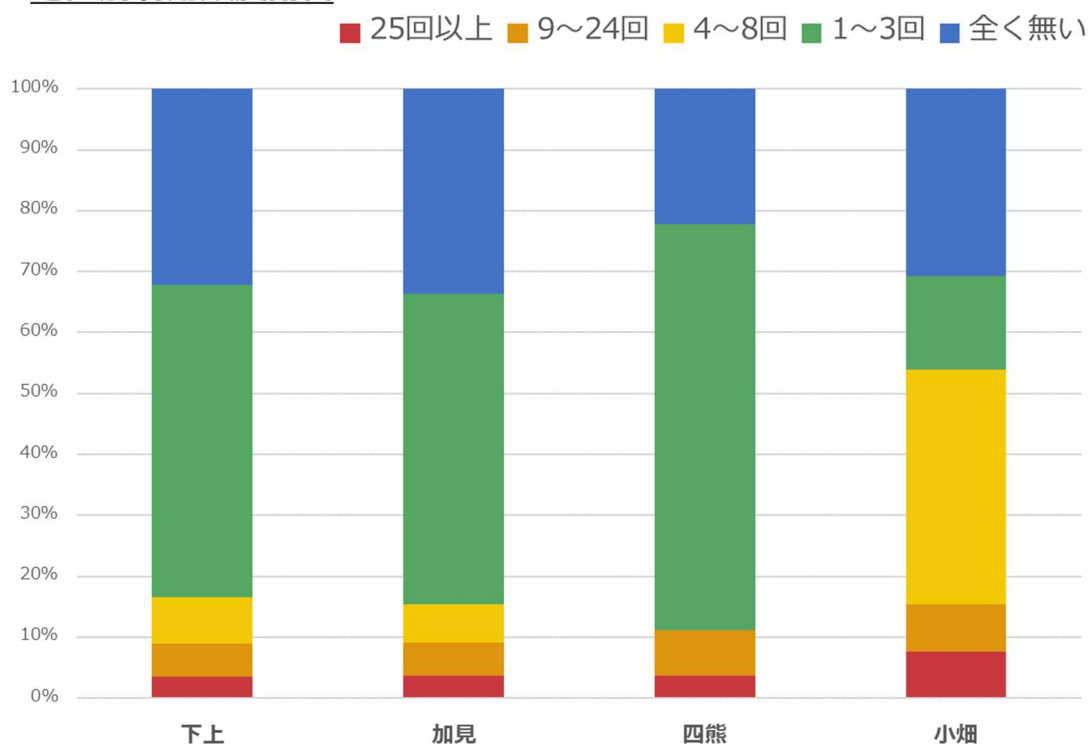
(4)-3 地区別利用頻度

(問4:1年間で支所や市民センターをどの程度ご利用しますか?)

(単位 人)

	25回以上 (月3回以上)	9～24回 (月1～2回)	4～8回 (2か月に1回)	1～3回 (年に数回)	全く無い	回数無回答	合計	割合
下上	13	20	28	189	119	1	370	71%
加見	4	6	7	56	37	1	111	21%
四熊	1	2	0	18	6	0	27	5%
小畑	1	1	5	2	4	0	13	2%
居住地区無回答	0	0	0	2	1	0	3	1%
合計	19	29	40	267	167	2	524	100%
割合	4%	5%	8%	51%	32%	—	100%	—

地区別利用頻度割合



■ 結果

利用頻度を地区別に見ると、どの地区も「全く無い」と回答した人が20%を超えています。

また、小畑地区以外の3地区においては、「全く無い」・「1～3回」と回答した人の合計が80%を超えています。

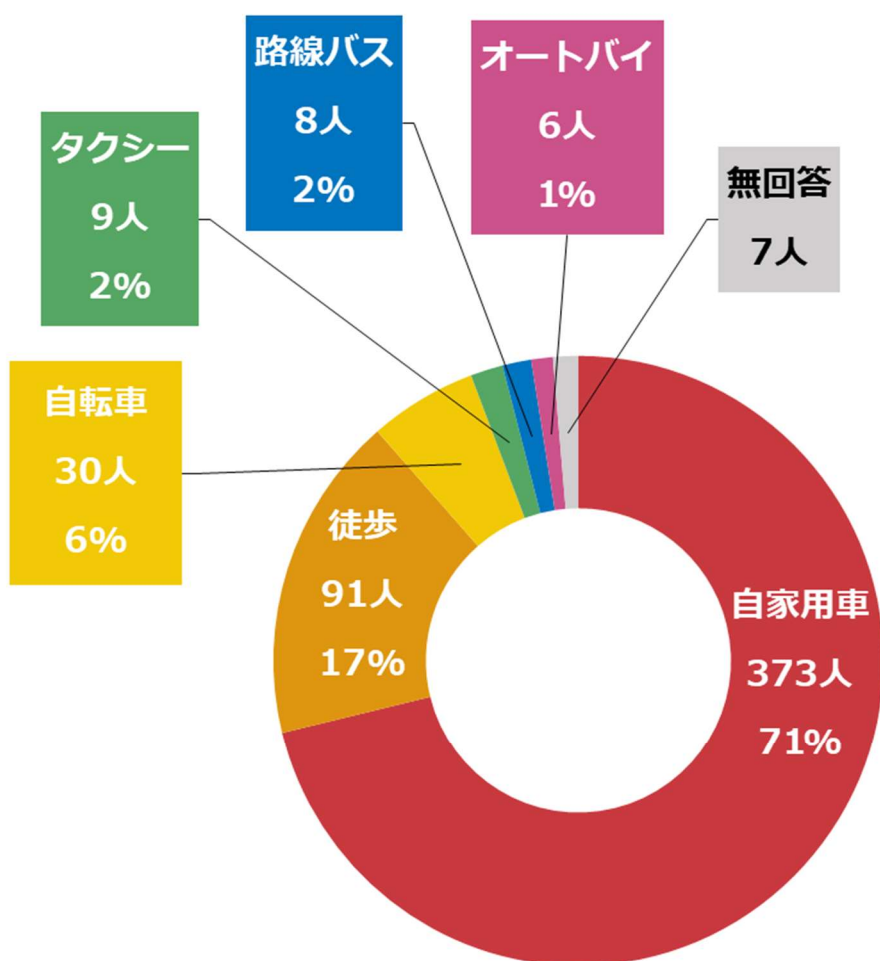
(5) 来館方法

(問5:支所・市民センターを利用される際の主な交通手段は何ですか？(または今まで利用したことのない人は今後利用する場合の交通手段))

(単位 人)

	自家用車	徒歩	自転車	タクシー	路線バス	オートバイ	無回答	合計
回答数	373	91	30	9	8	6	7	524
割合	71%	17%	6%	2%	2%	1%	1%	100%

来館方法



■結果

来館方法について、「自家用車」が373人、「徒歩」が91人、「自転車」が30人、「タクシー」が9人、「路線バス」が8人、「オートバイ」が6人、無回答が7人でした。

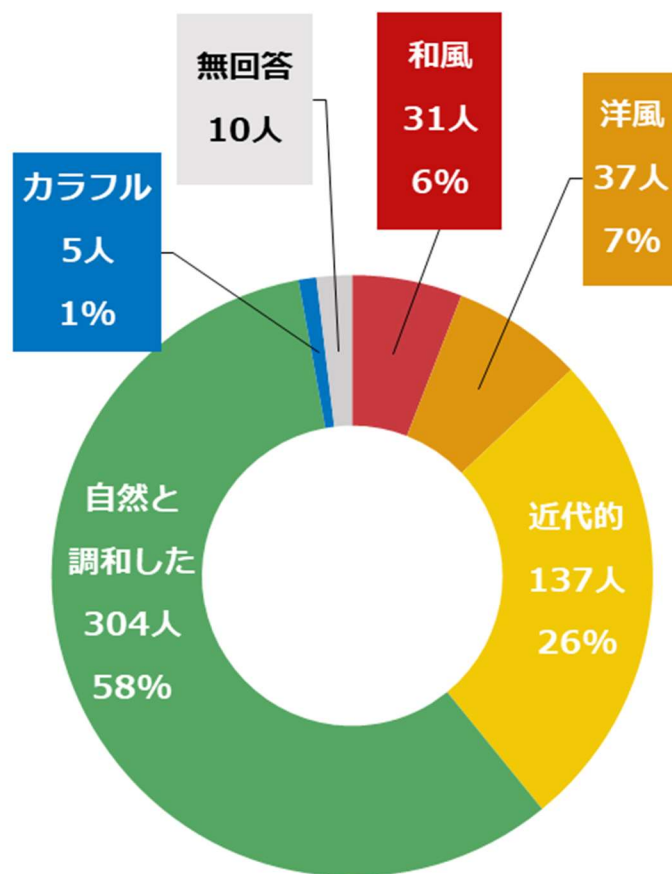
(6)-1 希望外観

(問6:新しい建物の外観のイメージは、どのようなものが良いと思いますか?)

(単位 人)

	和風	洋風	近代的	自然と 調和した	カラフル	無回答	合計
回答数	31	37	137	304	5	10	524
割合	6%	7%	26%	58%	1%	2%	100%

希望外観



■結果

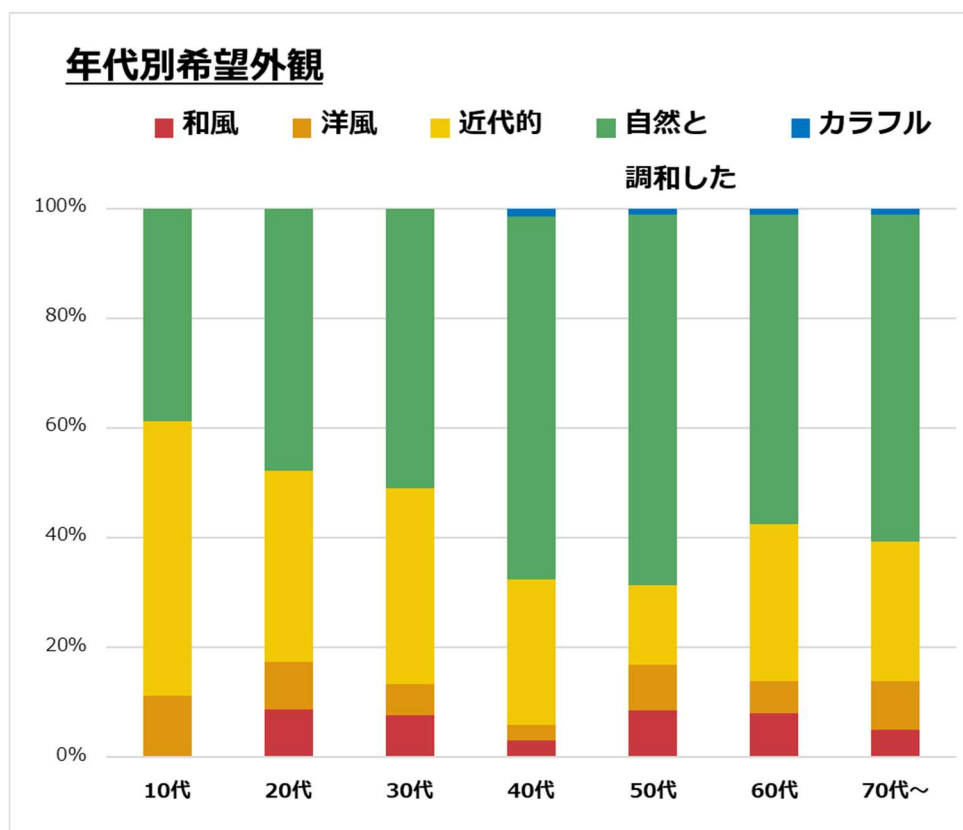
希望する外観について、「和風」が31人、「洋風」が37人、「近代的」が137人、「自然と調和した」が304人、「カラフル」が5人、無回答が10人でした。
全体では、約6割の方が「自然と調和した」外観を希望しており、次いで「近代的」外観を希望する方が26%となっています。

(6)-2 年代別希望外観

(問6:新しい建物の外観のイメージは、どのようなものが良いと思いますか?)

(単位 人)

	和風	洋風	近代的	自然と 調和した	カラフル	外観 無回答	合計
10代	0	2	9	7	0	0	18
20代	2	2	8	11	0	0	23
30代	4	3	19	27	0	0	53
40代	2	2	18	45	1	0	68
50代	7	7	12	56	1	3	86
60代	7	5	25	49	1	1	88
70代～	9	16	46	108	2	6	187
年代無回答	0	0	0	1	0	0	1
合計	31	37	137	304	5	10	524
割合	6%	7%	26%	58%	1%	2%	100%



■結果

希望する外観を年代別に見ると、

20代以降の全世代において「自然と調和した」外観が最も好まれており、

10代においてのみ「近代的」外観が「自然と調和した」外観よりも好まれています。

(7)-1機能別重要度

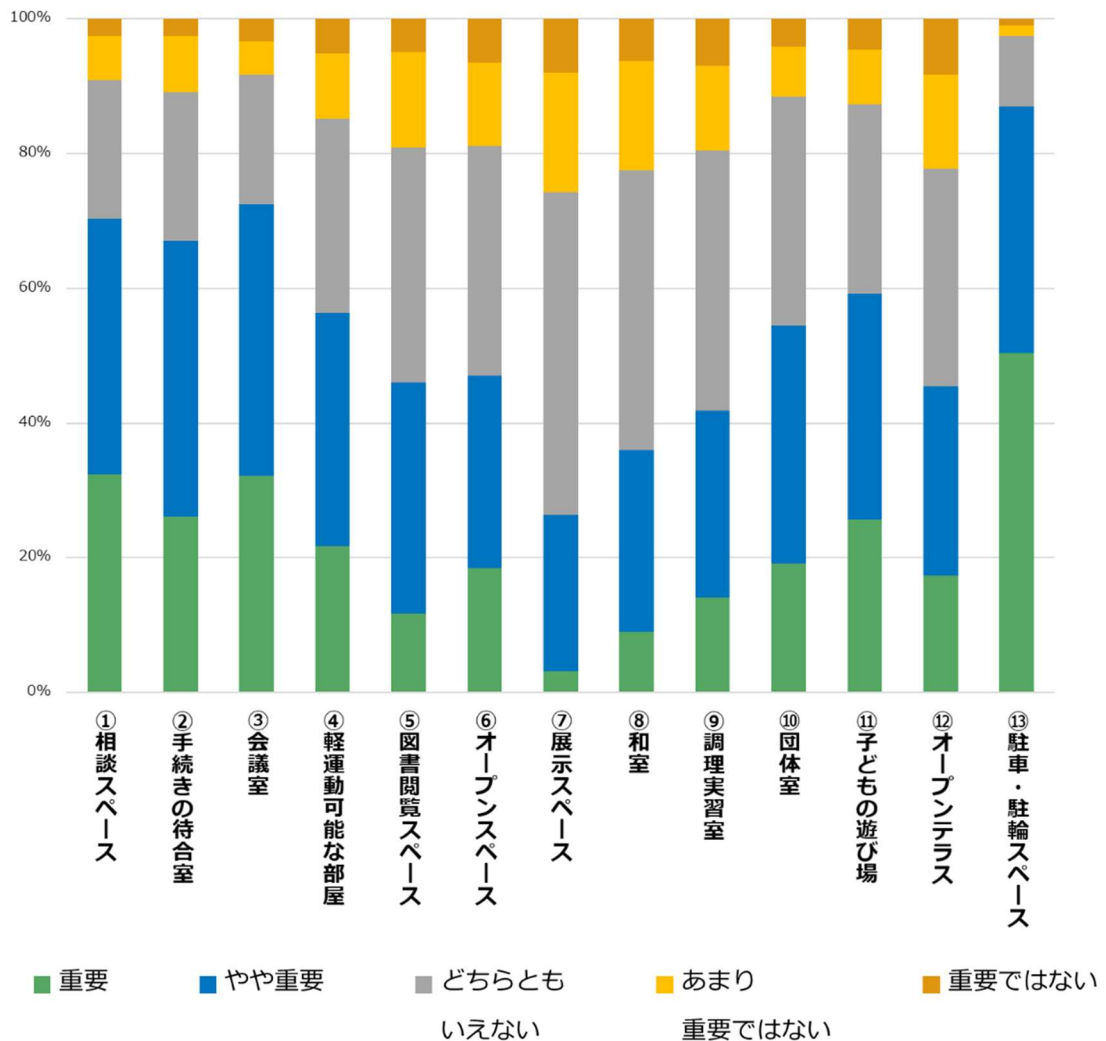
(問7:次に挙げる市民センターの機能について、あなたの考える重要度をお聞かせください。

また、項目①～⑭(「その他」含む。)のうち、最も重要だと思う項目を優先順位「1位」とし、以下3位までその項目の番号をご記入ください。)

	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要ではない	重要ではない	重要度 無回答	合計
①市への相談などに 利用できるスペース	161	187	102	32	13	29	524
②行政手続きの待合室	132	207	111	42	13	19	524
③講座、講習会、会議 などに使える部屋	163	203	97	25	17	19	524
④演奏、合唱、ダンス、 体操などができる広めの部屋	110	176	146	49	26	17	524
⑤図書の貸し出しや 閲覧ができるスペース	59	173	175	71	25	21	524
⑥自由に立ち寄れる オープンスペース	93	145	172	62	33	19	524
⑦講座等で作成したものを 展示するスペース	16	116	241	89	40	22	524
⑧舞踊、和楽器演奏、華道、 茶道などに利用できる和室	46	137	210	82	32	17	524
⑨調理実習室	71	141	195	64	35	18	524
⑩地域の各種団体が 使用する団体室	96	178	171	37	21	21	524
⑪親子(特に未就学児とその親) が自由に遊べる空間	129	169	141	41	23	21	524
⑫いこいの場となる外構空間 (オープンテラス等)	87	142	162	70	42	21	524
⑬充実した駐車・駐輪スペース	259	187	54	8	5	11	524
⑭その他	49	5	0	0	0	470	524

※それぞれ機能別に重要度を集計した結果、最も多かった回答を青色にしています。

機能別重要度



※「⑭その他」の欄には「避難所」、「ユニバーサルデザイン（障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいデザイン）」、「カフェ」、「学習スペース」などが挙げられており、最も多く記載があった機能は「避難所」でした。

■結果

「重要」・「やや重要」と回答した人の合計が最も多かった項目は「⑬充実した駐車・駐輪スペース」でした。

また、「重要ではない」・「あまり重要ではない」と回答した人の合計が最も多かった項目は「⑦講座等で作成したものを展示するスペース」でした。

(7)-2 機能別優先順位

(問7:次に挙げる市民センターの機能について、あなたの考える重要度をお聞かせください。

また、項目①～⑭(「その他」含む。)のうち、最も重要だと思う項目を優先順位「1位」とし、以下3位までその項目の番号をご記入ください。)

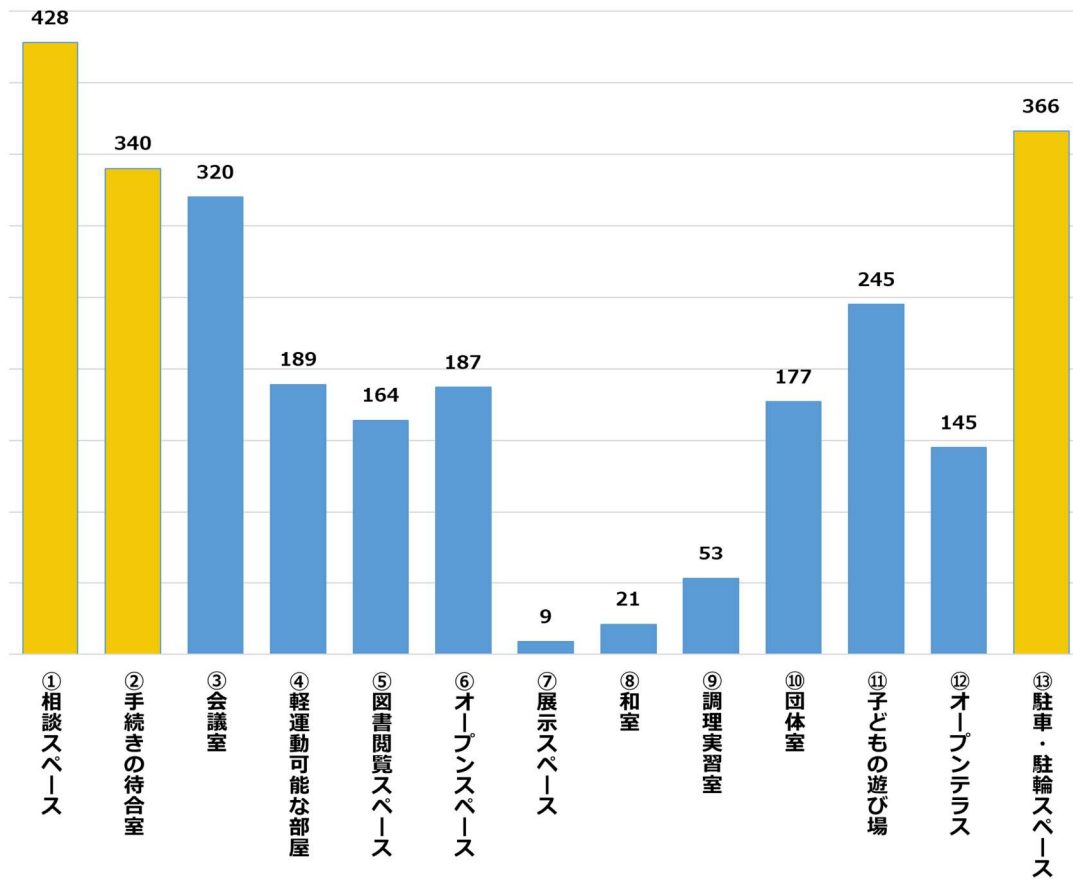
ポイント順 (1位=3p、2位=2p、3位=1p)

優先順位	1位(3pt)	2位(2pt)	3位(1pt)	ポイント
①市への相談などに 利用できるスペース	102	47	28	428
②行政手続きの待合室	52	72	40	340
③講座、講習会、 会議などに使える部屋	63	41	49	320
④演奏、合唱、ダンス、 体操などができる広めの部屋	24	40	37	189
⑤図書の貸し出しや 閲覧ができるスペース	20	35	34	164
⑥自由に立ち寄れる オープンスペース	24	35	45	187
⑦講座等で作成したものを 展示するスペース	0	3	3	9
⑧舞踊、和楽器演奏、華道、 茶道などに利用できる和室	1	2	14	21
⑨調理実習室	3	12	20	53
⑩地域の各種団体が 使用する団体室	18	38	47	177
⑪親子（特に未就学児と その親）が自由に遊べる空間	47	36	32	245
⑫いこいの場となる外構空間 (オープンテラス等)	17	32	30	145
⑬充実した駐車・駐輪スペース	59	61	67	366
優先順位未回答	63	63	71	—

※問7①～⑬の機能における優先順位(1位～3位)について、

1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして換算し集計しました。

問7 機能（優先順位ポイント順：1位=3p、2位=2p、3位=1p）



■ 結果

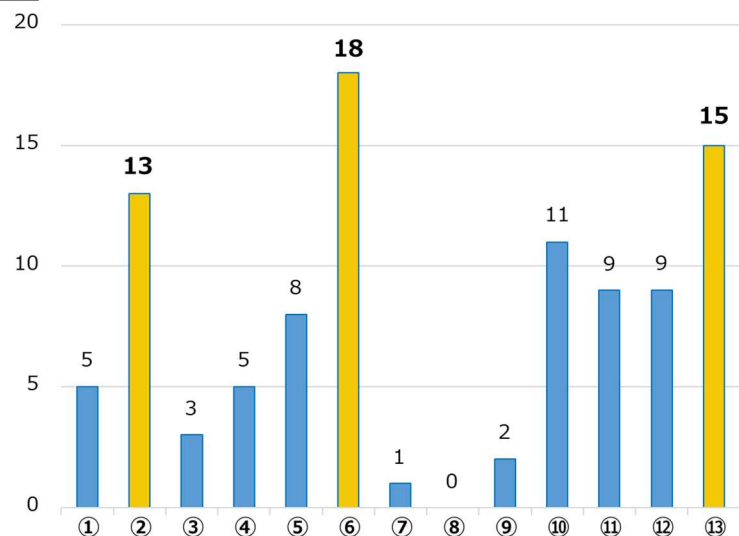
①～⑬の機能における優先順位について、
 1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして計算した場合、
 1位「①市への相談などに利用できるスペース」、
 2位「⑬充実した駐車・駐輪スペース」、
 3位「②行政手続きの待合室」となりました。

□ 考察

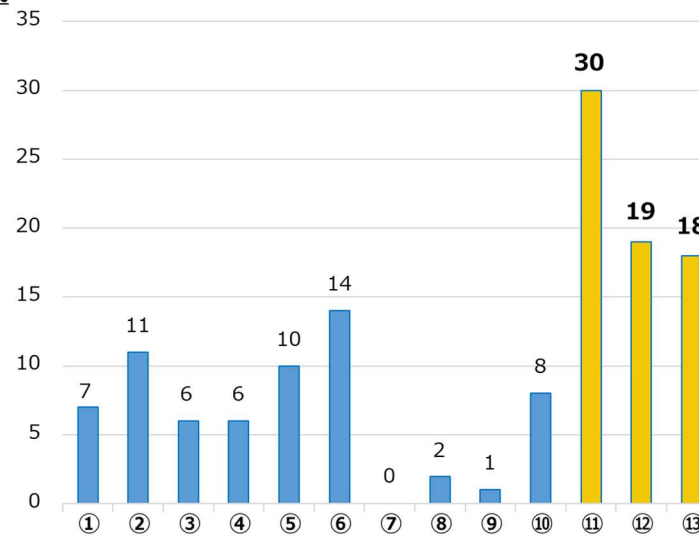
「市への相談などに利用できるスペース」が1位、「行政手続きの待合室」が3位
 となっていることから、支所機能の充実が望まれていると考えられます。

(7)-3 年代・機能別優先順位(1位=3ポイント、2位=2ポイント、3位=1ポイント)

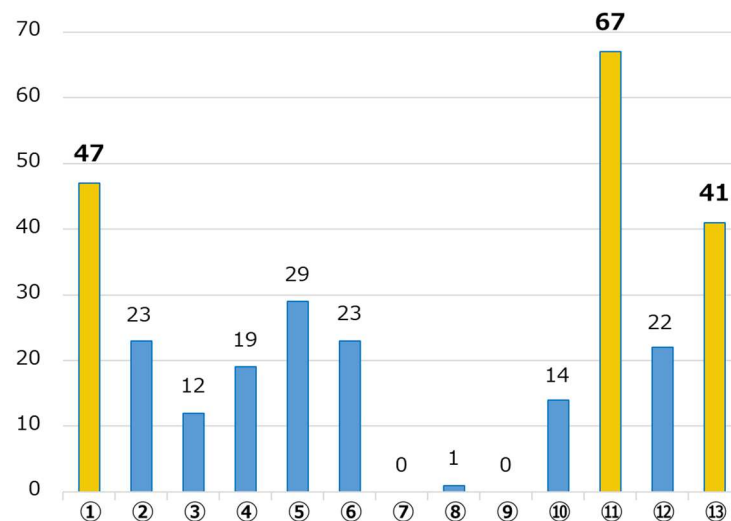
10代



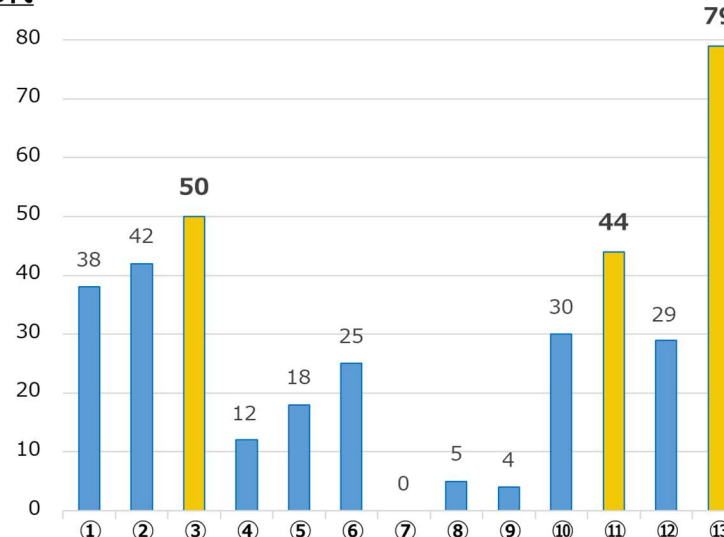
20代



30代

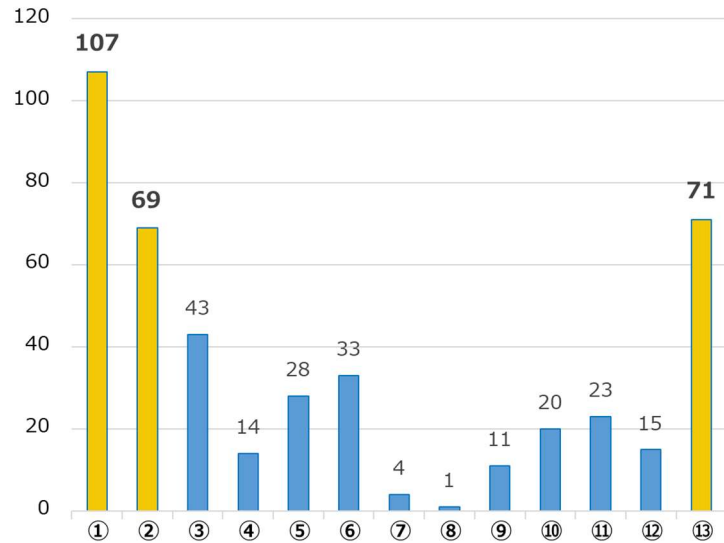


40代

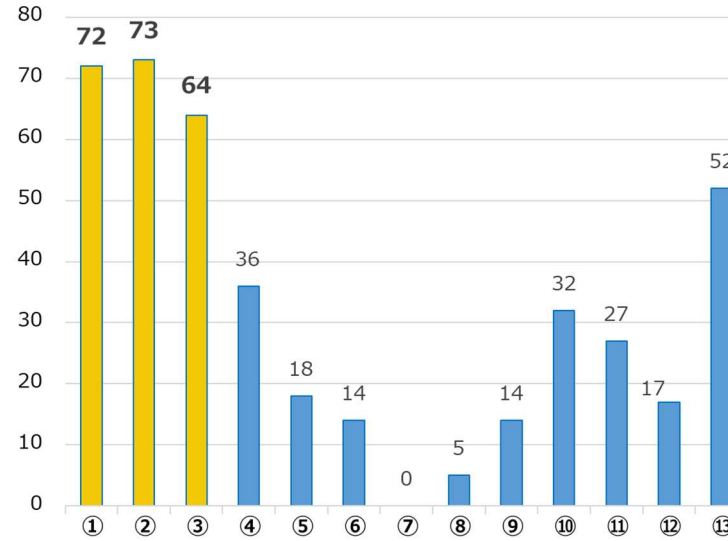


- ①市への相談などに利用できるスペース
- ②行政手続きの待合室
- ③講座、講習会、会議などに使える部屋
- ④演奏、合唱、ダンス、体操などができる広めの部屋
- ⑤図書の貸し出しや閲覧ができるスペース
- ⑥自由に立ち寄れるオープンスペース
- ⑦講座等で作成したものを展示するスペース
- ⑧舞踊、和楽器演奏、華道、茶道などに利用できる和室
- ⑨調理実習室
- ⑩地域の各種団体が使用する団体室
- ⑪親子(特に未就学児とその親)が自由に遊べる空間
- ⑫いこいの場となる外構空間(オープンテラス等)
- ⑬充実した駐車・駐輪スペース

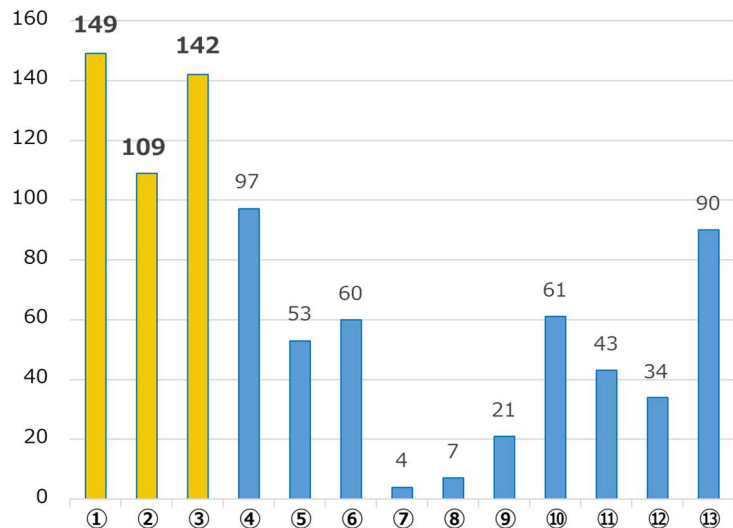
50代



60代



70代～



■結果

「10代」から「50代」までは、どの世代においても
「⑬充実した駐車・駐輪スペース」が上位3つに入っています。
また、「60代」及び「70代～」においては、ともに上位3つが同じ内容
（「①市への相談などに利用できるスペース」、「②行政手続きの待合室」、
「③講座、講習会、会議などに使える部屋」）となりました。

(8)自由記載欄

(菊川地域においても、ニーズの変化に対応した公共サービスの提供が求められている一方、次世代に大きな財政負担を残さないよう適正な公共施設の管理運営を目指す必要があります。支所・市民センターの整備や将来のあり方について、ご意見やご要望などがございましたらお聞かせください。)

《整備について》

【防災に関すること】 47件

主な項目

- 設備の充実(室内・外)
- ハザードマップを考慮した建替え場所の再検討
- 建物構造の工夫(電気設備、重要品の二階以上保管設置など)
- ペットの避難スペース確保
- 避難可能な屋上
- 床下貯蔵スペース確保
- 防災食の備蓄

【バリアフリーに関すること】 33件

主な項目

- 平屋建て
- スロープ
- 障がい者用トイレ
- 障がい者用駐車スペース
- 手すり
- スライドドア
- 室内の土足進入
- エレベーター
- 広い通路の確保

【行政サービスに関すること】 12件

主な項目

- 支所業務の拡充
- 行政手続きのオンライン化
- 支所・市民センター整備の周知
- コンビニでの行政手続き利用推進
- 分館廃止反対
- 分館での選挙投票継続

【地域づくり活動に関すること】 11件

主な項目

- 子どものためのイベント増
- 地域づくり活動内容の周知
- 市職員以外の各種団体代表が集う定期的な活動開催
- 官民(自治会なども含む)学(高校・大学・専門学校)での共同運営
- カフェ

【生涯学習活動に関すること】 2件

主な項目

- 図書貸し出し・閲覧スペースの拡充
- 健康管理できるスペース確保

【施設に関すること】 92件

主な項目

- 明るく、入り易い雰囲気
- 県道からの進入容易化
- シンプルな建物
- 現在の建物と同規模(箱モノを建てすぎ、他に必要な建物有り)
- 本館までの坂道を車道と歩道に分ける
- 公園と隣接させる
- 見た目より使いやすさ、コスパ重視
- 地域外の団体・個人でも展示できるスペース確保
- 菊川地域の歴史に関する掲示板等の設置(歴史教育の強化)
- 駐車場の完全禁煙
- 2階にトイレを設置
- 備品倉庫拡充
- 行政手続き中のプライバシー確保
- メンテナンス不要な外観
- ソーラーパネル
- 自家発電設備
- 畳を使わない
- ランニングコストがかからない素材、構造
- 使用目的が限定されないスペース確保
- 間仕切り(パーティション)の活用
- 部活動地域移行に向けたスペースの確保
- 間伐材を利用した建物
- 植栽(特に花)
- Wi-Fi の利用
- 軽スポーツ(卓球など)ができるスペース確保

- 地域の人口減少・高齢化を見据えた設備・規模
- 必要最低限の機能で無駄のない整備を(財源は無限ではない)
- 使用しない人には全く必要ないが、使用する人からすると無いと困るので、割り切って最小限の「箱モノ」とする(誰でもウェルカムにしない)
- 将来にわたって膨大な費用を残すことのないようにする

【規模拡大に関すること】 2件

主な項目

- 分館廃止に伴う本館規模の拡大

【規模縮小に関すること】 12件

主な項目

- 家が大神地区に近い、菊川支所は必要無い
- 対象者が市内の施設と重複している
- 建物ありきで論ずる必要は無い(マイナンバーカード等によるコンビニでの書類受領、支所の運営・管理コスト、メンテナンス等を考慮)
- 行政機能を主体とし、利用項目を最小限化

【分館存続に関すること】 4件

主な項目

- 富岡・加見分館存続希望

【分館廃止に関すること】 1件

主な項目

- 加見・富岡分館廃止(廃止後イベント時の倉庫として利用)

【子育て支援に関すること】 9件

- 室内遊具の設置
- 授乳室やおむつ替えスペース(男性用・女性用トイレ両方に)
- 小中学生が気軽にトイレを借りれるように
- 小学生の放課後利用
- 学習スペース

【その他】 10件

主な項目

- 早期整備を望む
- スーパーの出店
- 富岡公園の整備
- コミュニティバス
- ATM 設置

《将来のあり方について》

【防災に関すること】 22件

主な項目

- 富岡分館の避難所指定
- ペットの避難スペース確保
- 非常食備蓄用倉庫

【バリアフリーに関すること】 7件

主な項目

- 手すり付きの洋式トイレ
- バリアフリーにくつろげる部屋は1階に

【行政サービスに関すること】 36件

主な項目

- 市の手続等は、本庁、新南陽総合支所一元化
- 少子高齢化を考慮した在宅での市民サービス(出かけていくなら本庁で十分)
- 支所機能の存続
- コンビニにある利便性を支所にも(土日の証明書交付等)
- 行政手続きのオンライン化
- 支所機能の拡充
- 交流場のような機能は市役所近辺へ集約し、その分予算を支所機能や防災に使用
- リスクを無視した箱もの行政は必ず破綻する
- 広報に料理のレシピを載せる
- 施設使用料の見直し(備品にも使用料を設定する)

【地域づくり活動に関すること】 31件

主な項目

- キッチンカー、フリーマーケットなどのイベント
- 野菜マルシェの開催
- 若年層の利用促進

【生涯学習活動に関すること】 3件

主な項目

- サークル活動の拠点

【施設に関すること】 24件

主な項目

- オープンテラス(イスとテーブル)、自販機設置(ゴミ箱も)
- 高価な施設は不要
- 時計は電波時計に統一
- 屋上の利用(スペース、人工芝)
- 図書館があるので図書室不要

【規模拡大に関すること】 3件

主な項目

- 敷地を広げて将来有効に活用できるように
- 増築(公園をプラス)

【規模縮小に関すること】 4件

主な項目

- 人口減少及び高齢化を見据えた建て替えを(小さくていいので機能的に)

【分館存続に関すること】 5件

主な項目

- 富岡・加見分館存続希望(有効活用)

【子育て支援に関すること】 17件

主な項目

- 遊び場、鉄道模型展示など、子どもが楽しめるスペース
- 子育て支援センターのように保育士を常駐させ、未就学園児の遊び場に
- 子どもに関する悩み相談が気軽に行える場の確保
- 学習スペース
- 小・中学生にも利用しやすい運営方法

【その他】 20件

主な項目

- コミュニティバス(乗車料を払っても良いので)
- 近隣の人だけの施設に税金を使うのはどうなのか
- 文房具・お菓子・飲み物などの売店
- コンパクトにして分館を残す
- 下上、見明団地に住んでいるので、菊川支所に行くことは無い
- 菊川、向井土居、清海など下上周辺の自治会館は廃止し、新しい菊川支所を活用
- スーパー、コンビニ等の地理的集約
- 移動販売車を増やす
- ATM の設置

地域の皆様へ

周南市地域づくり推進課
菊川支所・市民センター

菊川支所・市民センター整備計画に関する アンケート調査にご協力をお願いします！

平素より地域活動・市民センター活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

菊川支所・市民センターについては、建築後 50 年が経過していることから、「菊川支所・市民センター整備検討会議」を立ち上げ、新たな支所・市民センターの整備に向けた検討を開始したところです。

ニーズの変化に対応した公共サービスの提供が求められている一方、次世代に大きな財政負担を残さないよう、適正な公共施設の管理運営を目指す必要があることから、地域の皆様のお考えやご意見をお聞きし、整備に向けた計画づくりに役立てたいと考え、アンケートを実施することといたしました。

お手数をおかけしますが、本趣旨をご理解のうえ、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※本アンケートは、令和5年7月末日現在で菊川地区にお住まいの方のうち、無作為に抽出した 1,200 人を対象に実施しています。

※調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

菊川支所・市民センターの整備に向けた市の方針

- (1) 施設は現在と同規模のおよそ700㎡(支所部分含む。)とします。
- (2) 現在地での建て替えを第一候補に検討を行います。
- (3) 垂直避難に有効な2階建ても含め、検討を行います。
- (4) 四熊・小畑市民センターについては、当面現行通りとします。
- (5) 加見・富岡の2つの分館については、建て替え等を行わないこととし、廃止の時期を今後協議決定していくこととします。
- (6) 令和8年度以降を目安に施設の整備を進める予定です。

※アンケートご記入にあたっての注意事項

●記入いただいたアンケート用紙は、令和5年9月末までに、返信用封筒(切手不要)にてご郵送、または菊川支所・市民センターにご持参くださいますようお願いいたします。

●設問ごとに、「番号1つに○印」、「当てはまる番号に○印」など、回答方法を指定しておりますので、指定に従って回答欄にご記入ください。

問5について、「その他」を選択される場合は、番号に○印をした後、具体的な内容を回答欄にご記入ください。

●ご回答いただくあなたご自身についてお伺いします。

令和5年4月1日時点でお答えください。【番号1つに○印】

問1:性別は？

1. 男性 2. 女性

問2:年齢は？

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問3:居住地区は？

1. 下上 2. 加見 3. 四熊 4. 小畑

●現在の菊川支所・市民センターについて、あなたのご利用状況をお伺いします。

問4:1年間で支所や市民センターをどの程度ご利用しますか？【番号1つに○印】

1. 年数回(年間で1～3回) 2. 2カ月に1回程度(年間で4～8回)
3. 月に1～2回程度(年間で9～24回) 4. 月に3回以上(年間で25回以上)
5. 全く利用しない

問5:支所・市民センターを利用される際の主な交通手段は何ですか？(または今まで利用したことのない人は今後利用する場合の交通手段)【番号1つに○印】

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. オートバイ
5. タクシー 6. 路線バス 7. その他()

●新しく整備する支所・市民センターの外観のイメージについてお伺いします。

問6:新しい建物の外観のイメージは、どのようなものが良いと思いますか？

【番号1つに○印】

1. 和風 2. 洋風 3. 近代的 4. 自然と調和した 5. カラフル

●支所・市民センターの機能についてお伺いします。

問7:次に挙げる市民センターの機能について、あなたの考える重要度をお聞かせください。【各項目の重要度について、あてはまる番号1つに○印】

また、項目①～⑭(「その他」含む。)のうち、最も重要だと思う項目を優先順位「1位」とし、以下3位までその項目の番号をご記入ください。

項 目	重 要 度 は ？				
	重 要	やや 重 要	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 重 要 で は な い	重 要 で は な い
例 ●●●●ができる空間 ※記入例です。	5	4	3	2	1
①市への相談などに利用できるスペース	5	4	3	2	1
②行政手続きの待合室	5	4	3	2	1
③講座、講習会、会議などに使える部屋	5	4	3	2	1
④演奏、合唱、ダンス、体操などができる広めの部屋	5	4	3	2	1
⑤図書の貸し出しや閲覧ができるスペース	5	4	3	2	1
⑥自由に立ち寄れるオープンスペース	5	4	3	2	1
⑦講座等で作成したものを展示するスペース	5	4	3	2	1
⑧舞踊、和楽器演奏、華道、茶道などに利用できる和室	5	4	3	2	1
⑨調理実習室	5	4	3	2	1
⑩地域の各種団体が使用する団体室	5	4	3	2	1
⑪親子(特に未就学児とその親)が自由に遊べる空間	5	4	3	2	1
⑫いこいの場となる外構空間(オープンテラス等)	5	4	3	2	1
⑬充実した駐車・駐輪スペース	5	4	3	2	1
⑭その他()	5	4	3	2	1

優 先 順 位	順 位	1 位	2 位	3 位
	項目番号			

●菊川地域においても、ニーズの変化に対応した公共サービスの提供が求められている一方、次世代に大きな財政負担を残さないよう適正な公共施設の管理運営を目指す必要があります。

支所・市民センターの整備や将来のあり方について、ご意見やご要望などがございましたらお聞かせください。

整備について(自由記述欄)

将来のあり方について(自由記述欄)

～ご協力いただきありがとうございました～

※アンケートにつきましては、**令和5年9月末まで**に、返信用封筒(切手不要)にてご郵送、または支所・市民センターにご持参くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 菊川支所・市民センター TEL:0834-62-2801
地域づくり推進課 TEL:0834-22-8296